

各都道府県教育委員会等文化行政主管課長 殿

独立行政法人国立美術館
国立映画アーカイブ館長
岡島尚志

(印影併刷)

令和4年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について（照会）

国立映画アーカイブでは、広く国民に優れた映画の鑑賞機会を提供するため、「優秀映画鑑賞推進事業実施要項」（添付資料1）に基づき、平成元年度から文化庁及び各公立文化施設（美術館・博物館を含む。）等と連携して定期的に公開上映を実施しており、令和4年度も引き続いて実施を予定しています。

つきましては、下記に留意いただき、貴管下関係施設及び市町村教育委員会等に周知いただくとともに、別紙様式による実施希望を取りまとめて、令和4年1月20日（木）必着でご回答くださるようお願いいたします。
なお、知事部局関係課に対しても連絡くださるようお願いいたします。

記

- 1 本事業の実施期間は、令和4年7月20日（水）から令和5年3月5日（日）までを予定しております。
- 2 本事業は、今後「令和4年度優秀映画鑑賞推進事業進行表」（添付資料2）を基に進めます。
つきましては、別途本事業の実施細目、各様式及び添付資料を送付いたしますので、事業実施希望者にはこれらを送付の上、周知の方よろしくお願いいたします。
- 3 事業実施希望者には、《回答にあたっての留意事項》を参照していただくよう指示願います。
- 4 回答の送付は、「株式会社オーエムシー」宛にお願いいたします。
- 5 実施希望がない場合も、その旨文書で回答方お願いいたします。
- 6 本文書の添付資料
 - ・令和4年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について（回答）
 - ・《回答にあたっての留意事項》
 - ・添付資料1 優秀映画鑑賞推進事業実施要項
 - ・添付資料2 令和4年度優秀映画鑑賞推進事業進行表（参照）
 - ・添付資料3 令和4年度プログラムリスト
- 7 本件お問い合わせ先
 - 国立映画アーカイブ 総務課事業担当
〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6 電話 03-3561-0823（代表）
 - 株式会社 オーエムシー 【回答送付先】
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34-1 新宿御苑前アネックスビル8階
電話 03-5362-0120（フロアイン）

令和4年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について(回答)

担当機関名

職名

氏名

印

1 開催希望施設

施設名

通称(あれば)

住所 〒

会場ホームページ http://

休館日(年末年始は記入不要)

フィルム搬出入ができない曜日

会場座席数 席 人口規模 人

担当者勤務先・部署(施設名と異なる場合)

担当者勤務先 TEL 会場 TEL(左と異なる場合)

担当者勤務先 FAX 担当者メールアドレス※

担当者名・役職

※事業の実施に関する連絡は、メールでも行います。
連絡がとれるアドレスを必ずご記入ください。

※ フィルム届け先と郵送物送り先が異なる場合は、別紙で連絡先等をお知らせください。

35ミリ映写設備の有無 35ミリ映写設備を有している 35ミリ映写設備のレンタルが可能である
(いずれかにレ印を付けてください。)

35ミリ映写機(設備がある場合) 機種名 設置年 年 月

35ミリ映写機(レンタルする場合) 機種名

2 プログラムの希望順位(第1～第3の各希望欄に、A～Wの中からそれぞれ1つを選択)
例年、同じプログラムに希望が集中する状況が発生していますので、**必ず、第1希望から第3希望まで、異なるプログラムをご記入ください。**

第1希望	第2希望	第3希望

※希望が集中して第3希望までで決められない場合には、本事業委託業者より第4希望をお伺いすることがあります。

3 開催月日の希望順位

	開催希望月日(令和4年7月20日(水)～令和5年3月5日(日)の範囲から最長5日間を選択)	期間
第1希望	年 月 日()～ 年 月 日()	日間
第2希望	年 月 日()～ 年 月 日()	日間
第3希望	年 月 日()～ 年 月 日()	日間

希望が重なった際の参考としますので、いずれかにレ印を付けてください。

可能であれば、 プログラムを優先 日程を優先

4 「鑑賞の手引」(上映作品解説パンフレット)の希望部数 (上限500部) 部

5 添付資料:会場図面

《回答にあたっての留意事項》

- ① 当事業が提供する映画フィルムはすべて35ミリ幅です。従って35ミリ用映写設備のない施設、及び35ミリ用映写設備のレンタルができない施設では、当事業は実施できません。
- ② 1の「休館日」欄及び「フィルム搬出入ができない曜日」欄は、当事業が採択された場合のフィルム搬送日程表作成にあたり必要ですので、必ず記入してください。なお、休館日が休日と重なった際に休館日に変更になる場合は、その旨を書き添えてください。
- ③ 1の「人口規模」欄は、当該実施希望施設の所在する市町村(東京都特別区及び政令指定都市にあつては、当該実施希望施設の所在する区)の人口数を記入してください。
- ④ 1の「担当者メールアドレス」欄は、実施に関する連絡を委託業者からメールで行う際に必要です。連絡がとれるメールアドレスを必ずご記入ください。
- ⑤ 2「プログラムの希望順位」については、「添付資料3: 令和4年度プログラムリスト」より選択の上、第1希望から第3希望までのすべての欄を記号で記入してください。
- ⑥ 3「開催月日の希望順位」は、第1希望から第3希望までのすべての欄を記入してください。なお全国の会場を巡回するため、長期間の実施には応じられません。最長5日間の期間を選択してください。この期間は必ずしも実際の上映期間を意味するものではなく、フィルムを当該の実施希望施設に留置できる期間とご理解ください。ただし、搬送の都合上、5日間以上フィルムを留置していただかなくてはならない場合があることも、併せてご了承ください。
- ⑦ 2及び3は、他会場の実施希望日やフィルム搬送の日程上、第1希望に添えない場合があります。そのため、プログラム及び日程調整において公平を期すため、2及び3は必ず第3希望まで、異なるプログラム、異なる開催月日を記入してください。また、例年希望が集中するため、2または3のいずれか優先したい方を選んでください。調整の際の参考とします。
- ⑧ 4「鑑賞の手引」は、当事業への来場者に配布することを目的に、国立映画アーカイブで作成し、事業実施施設に無償でお送りする解説パンフレットです。おおよその来場見込数をもとに、希望部数を記入してください。(500部以内)
- ⑨ 5「添付資料」として各実施会場の図面を必ず添付してください。
- ⑩ 公印(個人印は不可)を捺印の上、各都道府県担当者に提出してください。
- ⑪ 担当者の変更があった場合は、各都道府県担当者に「変更届」(様式自由)を提出してください。

優秀映画鑑賞推進事業実施要項

令和2年4月1日

館長 裁定

(趣旨)

第1条 広く国民に優れた映画の鑑賞の機会を提供するため、国立映画アーカイブ（以下「当館」という。）は、文化庁の協力のもと、各地の公立文化施設等と連携して、所蔵する映画フィルムの公開上映を実施するものとする。

(名称)

第2条 この事業の名称は、優秀映画鑑賞推進事業とする。

(委員会)

第3条 当館は、この事業を実施するため優秀映画鑑賞推進事業実施委員会（以下「委員会」という。）を設け、映画フィルム及び会場となる公立文化施設等（以下「会場施設等」という。）について協議し、選定するものとする。

2 委員会は、映画製作関係者、映画興行関係者、映画関係者及び学識経験者等をもって構成するものとし、委員10人以内で組織する。

3 委員の任期は2年とし、その欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(事業内容)

第4条 委員会において選定された会場施設等は、当館が委員会の協力を得て選定した映画フィルムのうちから、希望するものを公開上映する。

2 会場施設等は、事業を実施するに当たり、必要に応じて専門家による講演等を行うことができる。

(主催者等)

第5条 主催者は、当館及び会場施設等とする。

2 会場施設等は、必要に応じて開催地の教育委員会、関係団体、新聞社、放送局等を主催者に加え、又は協賛者とすることができる（以下、この要項において「共同主催者等」という。）。

3 会場施設等は、事業の実施に当たり、当該開催地の共同主催者等や映画興行関係者等で構成される実行委員会を設け、円滑に事業を進めるものとする。

(事業・経費の分担)

第6条 この事業の実施に関し、映画フィルムの提供、鑑賞の手引きの作成及びこれらの輸送等は当館が分担し、それ以外は、原則、共同主催者等が分担する。

2 前項により共同主催者等が事業分担する主な経費は、次のとおりとする。

- 一 公開上映の実施会場の使用料
- 二 公開上映の実施会場の設営及び整理に要する経費
- 三 公開上映に関する広報にかかる経費
- 四 公開上映に関する講演等の謝金及び旅費
- 五 前条第3項の実行委員会の開催に要する経費

(施設の制限)

第7条 会場施設等は、35ミリ映写設備を有する施設その他これに準ずる適当な設備を有する施設とする。

(観覧料)

第8条 会場施設等は、成人1人500円の範囲内で観覧料を徴収するものとする。この場合において、徴収した観覧料は、会場施設等がこの事業の実施に必要とする経費の一部に充当するものとする。

(その他)

第9条 この要項に定めるもののほか、この事業の実施に関し必要な事項は館長が定める。

附 則

- 1 この要項は、令和2年4月1日から施行し、令和2年度事業から適用する。
- 2 この要項の施行日以降、最初の実施委員会委員に係る任期は第3条第3項の規定にかかわらず、令和3年3月31日までとする。
- 3 この要項の施行日以前に実施している事業等については、なお従前の例により取り扱うものとする。

令和4年度優秀映画鑑賞推進事業進行表 実施希望照会～事業完了まで

委託業者=株式会社オーエムシー (令和5年度は未定)		国立映画アーカイブ 委託業者	都道府県担当者 各都道府県担当課の本件事業担当者	主催団体(会場)担当者 公立文化施設等事業実施会場担当者
令和3年 11月		照会文書送付	事業詳細資料を受領 (照会文書、実施細目等) 公立文化施設・ 市町村教育委員会等へ連絡	事業の実施について検討 事業の実施について 委員会で検討
12月～ 令和4年 1月	回答書提出〆切 1月20日 木曜日【必着】	回答書受領	回答書を(株)オーエムシーへ提出 公立文化施設・市町村教育委員会 から提出された回答を取りまとめ、 プログラム及び日程を調整後、委託 業者へ提出	回答書を都道府県へ提出 ・プログラム及び日程は必ず第3希望まで 記入する。 ・会場図面を添える
1月～2月		取りまとめ		
2月～3月		事前通知送付	事前通知を受領 公立文化施設・ 市町村教育委員会等へ連絡	事前通知を受領
事前通知を受けて微調整				
3月～4月		決定通知送付	決定通知を受領 公立文化施設・ 市町村教育委員会等へ連絡	決定通知を受領
6月		フィルム搬送表送付 主催団体(会場) へ、メールにて送付		フィルム搬送表等を受領
		鑑賞の手引送付	鑑賞の手引1冊を参考資料 として受領	鑑賞の手引を受領 ◎鑑賞の手引は宣伝素材として使用可
7月	実施確約書等 提出〆切	実施確約書、 委員会規約受領		委員会規約(様式1)、実施確約書 (様式2)等を、委託業者へ提出 ◎広報用写真データは、確約書提出後 受領可 広報印刷物(チラシ)の作成等、 事業実施準備
事業の実施 令和4年7月20日(水)～令和5年3月5日(日)				
実施後	実施報告書 提出〆切	映画フィルム転送通知書、 実施報告書等受領		映画フィルム転送通知書(様式3) を、実施後すぐ、委託業者へ提出 実施報告書(様式4)を、チラシ 10部とともに、実施後3週間以内に、 委託業者へ提出

(様式1) 優秀映画鑑賞推進事業実施委員会規約、名簿

(様式2) 優秀映画鑑賞推進事業実施確約書/ (別紙) 遵守事項

(様式3) 映画フィルム転送通知書

(様式4) 令和3年度優秀映画鑑賞推進事業実施報告書

令和4年度プログラムリスト (全23番組、92作品)

添付資料3

* 題名横の註はサウンド情報。*はモノラル(濃淡型)、**はドルビー(ステレオ/SR)、***はドルビーデジタル(SR-D)。

Aプログラム

日本映画を代表する溝口健二監督と近年海外での評価が高まっている清水宏の2作品を紹介。

- 浪華悲歌 (1936年・溝口健二・第一映画・72分) 出演 = 山田五十鈴、梅村蓉子、進藤英太郎
西鶴一代女 (1952年・溝口健二・新東宝 = 児井プロ・136分) 出演 = 田中絹代、三船敏郎、宇野重吉
風の中の子供 (1937年・清水宏・松竹・86分) 出演 = 河村黎吉、吉川満子、葉山正雄、爆弾小僧
蜂の巣の子供たち (1948年・清水宏・蜂の巣映画部・84分) 出演 = 島村俊作、夏木雅子、御庄正一

Bプログラム

世界の映画史に大書される巨匠の小津安二郎監督が親と子の関係を静かに見つめた、戦後の代表作を紹介。

- 麦秋 (1951年・小津安二郎・松竹・125分) 出演 = 原節子、笠智衆、杉村春子
東京物語 (1953年・小津安二郎・松竹・136分) 出演 = 原節子、笠智衆、東山千栄子
彼岸花 (1958年・小津安二郎・松竹・118分) 出演 = 佐分利信、有馬稲子、山本富士子
秋刀魚の味 (1962年・小津安二郎・松竹・113分) 出演 = 岩下志麻、笠智衆、岡田茉莉子

Cプログラム

人間の善と悪、大胆な構成と躍動感あふれる演出で描き続け、世界中の映画人と観客を魅了した黒澤明監督の傑作を紹介。

- わが青春に悔なし (1946年・黒澤明・東宝・110分) 出演 = 原節子、藤田進、大河内伝次郎、杉村春子
酔いどれ天使 (1948年・黒澤明・東宝・98分) 出演 = 志村喬、三船敏郎、木暮実千代
用心棒 (1961年・黒澤明・東宝 = 黒澤プロ・110分) 出演 = 三船敏郎、仲代達矢、山田五十鈴、司葉子
天国と地獄 (1963年・黒澤明・東宝 = 黒澤プロ・143分) 出演 = 三船敏郎、仲代達矢、香川京子、山崎努

Dプログラム

男女の心のあやを冷徹な視線で描写した成瀬巳喜男監督と、叙情的な作風で多くの観客を魅了した木下恵介監督の作品を紹介。

- めし (1951年・成瀬巳喜男・東宝・97分) 出演 = 上原謙、原節子、島崎雪子
流れる (1956年・成瀬巳喜男・東宝・116分) 出演 = 田中絹代、山田五十鈴、高峰秀子、杉村春子
二十四の瞳 (1954年・木下恵介・松竹・155分) 出演 = 高峰秀子、月丘夢路、田村高広
野菊の如き君なりき (1955年・木下恵介・松竹・92分) 出演 = 有田紀子、田中晋二、田村高広

Eプログラム

近代日本の光と影を情感ゆたかに描いた今井正と、才気あふれる作風で日本映画の刷新を試み続けた市川崑の代表作を紹介。

- にごりえ (1953年・今井正・文学座ほか・130分) 出演 = 丹阿弥谷津子、久我美子、淡島千景
純愛物語 (1957年・今井正・東映・130分) 出演 = 江原真二郎、中原ひとみ、岡田英次
東京オリンピック (1965年・市川崑・東京オリンピック映画協会・169分) 記録映画
細雪 (1983年・市川崑・東宝・140分) 出演 = 佐久間良子、吉永小百合、古手川祐子、伊丹十三

Fプログラム

戦中派の屈折を活劇に昇華させた異才・岡本喜八と、独自の映像美学で熱狂的なファンを生んだ鬼才・鈴木清順の作品を紹介。

- けんかえれじい (1966年・鈴木清順・日活・86分) 出演 = 高橋英樹、浅野順子、川津祐介
東京流れ者 (1966年・鈴木清順・日活・82分) 出演 = 渡哲也、松原智恵子、川地民夫
独立愚連隊 (1959年・岡本喜八・東宝・108分) 出演 = 佐藤允、雪村いづみ、中丸忠雄
日本のいちばん長い日 (1967年・岡本喜八・東宝・157分) 出演 = 三船敏郎、笠智衆、松本幸四郎

Gプログラム

1960年前後に登場した、戦後の若き映画監督たちによる革新的な作品群を紹介。

豚と軍艦（1961年・今村昌平・日活）出演＝長門裕之、吉村実子、南田洋子

情炎（1967年・吉田喜重・現代映画社・97分）出演＝岡田茉莉子、木村功、高橋悦史、しめぎしがこ

少年（1969年・大島渚・創造社＝ATG・97分）出演＝渡辺文雄、小山明子、阿部哲夫、木下剛志

心中天網島（1969年・篠田正浩・表現社＝ATG・103分）出演＝中村吉右衛門、岩下志麻、滝田裕介

Hプログラム

1980年代以降、日本映画の顔として活躍してきた監督たちの意欲作を紹介。

転校生（1982年・大林宣彦・日本テレビ放送網＝ATG・113分）出演＝小林聡美、尾美としのり

ロックよ、静かに流れよ**（1988年・長崎俊一・東宝他・100分）出演＝岡本健一、高橋一也、前田耕陽

櫻の園（1990年・中原俊・ニュー・センチュリー・プロデューサーズ＝サントリー・96分）出演＝中島ひろ子、つみきみほ、白島靖代

お引越し（1993年・相米慎二・読売テレビ放送・124分）出演＝田畑智子、中井貴一、桜田淳子

Iプログラム

1990年代以降に登場した自主映画出身の監督たちが軽快に描く、“熱中する人々”への人生讃歌。

Shall we ダンス?***（1996年・周防正行・大映＝日本テレビ放送網＝博報堂他・136分）出演＝役所広司、草刈民代、竹中直人

がんばっていきまっしょい**（1998年・磯村一路・フジテレビ＝ポニーキャニオン＝アルタミラピクチャーズ・119分）出演＝田中麗奈、清水真実、中嶋朋子

キツキと雨***（2011年・沖田修一・「キツキと雨」製作委員会・128分）出演＝役所広司、小栗旬、高良健吾、山崎努

死に花***（2004年・犬童一心・「死に花」製作委員会・120分）出演＝山崎努、宇津井健、青島幸男、谷啓、松原智恵子

Jプログラム

1990年代以降に日本映画の新たな顔として活躍を続ける監督たちが描く、様々な家族のドラマ。

愛を乞うひと**（1998年・平山秀幸・東宝＝角川書店＝サンダンス・カンパニー・135分）出演＝原田美枝子、中井貴一、國村隼、うじきつよし

GO**（2001年・行定勲・「GO」製作委員会・123分）出演＝窪塚洋介、柴咲コウ、大竹しのぶ、山崎努

ゆれる**（2006年・西川美和・「ゆれる」製作委員会・119分）出演＝オダギリジョー、香川照之、伊武雅刀、真木よう子

幻の光（1995年・是枝裕和・テレビマンユニオン・109分）出演＝江角マキコ、浅野忠信、内藤剛志、木内みどり

Kプログラム

岸恵子、吉永小百合、佐久間良子、岩下志麻——大女優の若き姿を、文芸映画を通して紹介。

雪国（1957年・豊田四郎・東宝・133分）出演＝岸恵子、池部良、八千草薫、久保明

伊豆の踊子（1963年・西河克己・日活・87分）出演＝吉永小百合、高橋秀樹、南田洋子、浪花千栄子

五番町夕霧楼（1963年・田坂具隆・東映・137分）出演＝佐久間良子、河原崎長一郎、木暮実千代

五瓣の椿（1964年・野村芳太郎・松竹・163分）出演＝岩下志麻、田村高広、伊藤雄之助

Lプログラム

池部良、石原裕次郎、三船敏郎、中村錦之助——個性豊かな男優たちの魅力があふれる作品を紹介。

暁の脱走（1950年・谷口千吉・新東宝・110分）出演＝池部良、山口淑子、小沢栄

嵐を呼ぶ男（1957年・井上梅次・日活・100分）出演＝石原裕次郎、北原三枝、芦川いづみ、金子信雄

隠し砦の三悪人（1958年・黒澤明・東宝・138分）出演＝三船敏郎、上原美佐、藤田進

叛逆児（1961年・伊藤大輔・東映・110分）出演＝中村錦之助、桜町弘子、月形龍之介

Mプログラム

見るものを惹きつけて止まない異端のヒーローたち。シリーズ化やリメイクにより、時代を超越するキャラクターの作品を紹介。

次郎長三国志 (1963年・マキノ雅弘・東映・102分) 出演＝鶴田浩二、松方弘樹、佐久間良子
網走番外地 (1965年・石井輝男・東映・91分) 出演＝高倉健、丹波哲郎、田中邦衛、嵐寛寿郎
沓掛時次郎 遊俠一匹 (1966年・加藤泰・東映・90分) 出演＝中村錦之助、池内淳子、渥美清
人生劇場 飛車角と吉良常 (1968年・内田吐夢・東映・109分) 出演＝鶴田浩二、高倉健、辰巳柳太郎

Nプログラム

終戦直後の混乱のなかで、古き時代への悔恨と新しい時代に向けた希望を映し出した力作を紹介。

戦争と平和 (1947年・山本薩夫、亀井文夫・東宝・100分) 出演＝池部良、岸旗江、伊豆肇
安城家の舞踏会 (1947年・吉村公三郎・松竹・89分) 出演＝原節子、滝沢修、森雅之
青い山脈／続 青い山脈 (1949年・今井正・藤本プロ＝東宝・計172分) 出演＝原節子、杉葉子、池部良
帰郷 (1950年・大庭秀雄・松竹・104分) 出演＝佐分利信、木暮実千代、津島恵子

Oプログラム

戦後の混乱を乗り越え、復興の時を迎えた日本に生きる様々な家族や夫婦の姿を描いた作品を紹介。

煙突の見える場所 (1953年・五所平之助・新東宝＝スタジオ8プロ・108分) 出演＝田中絹代、上原謙、高峰秀子、芥川比呂志
この広い空のどこかに (1954年・小林正樹・松竹・109分) 出演＝佐田啓二、久我美子、高峰秀子
名もなく貧しく美しく (1961年・松山善三・東京映画・129分) 出演＝高峰秀子、小林桂樹、島津雅彦
裸の島 (1960年・新藤兼人・近代映画協会・96分) 出演＝乙羽信子、殿山泰司、田中伸二

Pプログラム

阪妻、長谷川一夫、右太衛門、千恵蔵、月形——定番時代劇の醍醐味を存分に発揮した時代劇スター競演の作品を紹介。

大江戸五人男 (1951年・伊藤大輔・松竹・132分) 出演＝阪東妻三郎、市川右太衛門、山田五十鈴
銭形平次捕物控 からくり屋敷 (1953年・森一生・大映・86分) 出演＝長谷川一夫、アチャコ、三浦光子、入江たか子
旗本退屈男 (1958年・松田定次・東映・108分) 出演＝市川右太衛門、桜町弘子、片岡千恵蔵
赤穂浪士 (1961年・松田定次・東映・151分) 出演＝片岡千恵蔵、大川橋蔵、月形龍之介、市川右太衛門

Qプログラム

風俗喜劇に重喜劇、ユーモアあふれるコメディ——さまざまな笑いで見るものを楽しませてきた喜劇映画の代表作を紹介。

本日休診 (1952年・渋谷実・松竹・97分) 出演＝柳永二郎、淡島千景、三国連太郎
幕末太陽傳 (1957年・川島雄三・日活・110分) 出演＝フランキー堺、左幸子、南田洋子
貸間あり (1959年・川島雄三・宝塚映画・112分) 出演＝、フランキー堺、淡島千景、乙羽信子
喜劇 女は男のふるさとヨ (1971年・森崎東・松竹・90分) 出演＝森繁久弥、中村メイコ、倍賞美津子

Rプログラム

日本映画の量産時代に登場した監督たちが、喜劇映画のなかで新たな挑戦を試みた秀作を紹介。

おかしな奴 (1963年・沢島忠・東映・110分) 出演＝渥美清、三田佳子、南田洋子
喜劇 急行列車 (1967年・瀬川昌治・東映・90分) 出演＝渥美清、佐久間良子、小沢昭一
吹けば飛ぶよな男だが (1968年・山田洋次・松竹・91分) 出演＝なべおさみ、緑魔子、犬塚弘
あゝ軍歌 (1970年・前田陽一・松竹・89分) 出演＝フランキー堺、財津一郎、倍賞千恵子

Sプログラム

軽やかなリズムと華やかな色彩にのせて、歌と笑いと夢にあふれた音楽・歌謡映画の決定版を紹介。

エノケンの頑張り戦術（1939年・中川信夫・東宝・74分）出演＝榎本健一、如月寛多、柳田貞一

大当り三色娘（1957年・杉江敏男・東宝・94分）出演＝美空ひばり、江利チエミ、雪村いづみ

ニッポン無責任時代（1962年・古澤憲吾・東宝・86分）出演＝植木等、ハナ肇、谷啓

君も出世ができる（1964年・須川栄三・東宝・100分）出演＝フランキー堺、高島忠夫、雪村いづみ

Tプログラム

純情と犖猛さが入り混じった青春の一瞬を、気鋭の監督たちが鮮やかに捉えた青春映画、恋愛映画の秀作を紹介。

めぐりあい（1968年・恩地日出夫・東宝・91分）出演＝酒井和歌子、黒沢年男、田村亮

八月の濡れた砂（1971年・藤田敏八・日活・91分）出演＝村野武範、広瀬昌助、テレサ野田

伊豆の踊子（1974年・西河克己・東宝＝ホリプロ・82分）出演＝山口百恵、三浦友和、中山仁

忍ぶ川（1972年・熊井啓・俳優座映画放送・120分）出演＝加藤剛、栗原小巻、永田靖、信欽三

Uプログラム

社会派ミステリーや権力者の不正、冤罪問題など、名匠たちが丹精こめて作り上げた力作を紹介。

真昼の暗黒（1956年・今井正・現代ぶろ・124分）出演＝草薙幸二郎、松山照夫、左幸子

張込み（1958年・野村芳太郎・松竹・116分）出演＝大木実、宮口精二、高峰秀子、田村高広

悪い奴ほどよく眠る（1960年・黒澤明・東宝＝黒沢プロ・151分）出演＝三船敏郎、森雅之、香川京子

飢餓海峡（1964年・内田吐夢・東映・183分）出演＝三国連太郎、左幸子、伴淳三郎

Vプログラム

時代を超えて読み継がれる児童文学の名作や人気漫画を、豊かな情感と奔放な想像力で映画化した4作品を紹介。

あすなろ物語（1955年・堀川弘通・東宝・108分）出演＝久保明、岡田茉莉子、根岸明美

次郎物語（1987年・森川時久・西友＝学習研究社＝キネマ東京・110分）出演＝加藤剛、高橋恵子、伊勢将人、樋口剛嗣

風の又三郎 ガラスのマント**（1989年・伊藤俊也・朝日新聞社＝東急エージェンシー＝日本ヘラルド映画・107分）出演＝早勢美里、小林悠、草刈正雄

少年時代（1990年・篠田正浩・「少年時代」製作委員会・117分）出演＝岩下志麻、細川俊之、藤田哲也

Wプログラム

今や日本文化の顔となったアニメーション映画。日本アニメの歴史を画した劇場用長篇映画の代表作を紹介。

西遊記（1960年・藪下泰司、手塚治虫、白川大作・東映動画・88分）声の出演＝小宮山清、新道乃里子、木下秀雄

太陽の王子 ホルスの大冒険（1968年・高畑勲・東映動画・82分）声の出演＝大方斐紗子、平幹二郎、市原悦子

長靴をはいた猫（1969年・矢吹公郎・東映動画・80分）声の出演＝石川進、藤田淑子、榊原ルミ

銀河鉄道の夜**（1985年・杉井ギサブロー・朝日新聞社＝テレビ朝日＝日本ヘラルド映画グループ・107分）声の出演＝田中真弓、坂本千夏、常田富士男